

安全に関するご注意

■安全のため必ずお守りください

商品を安全に取付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前によくお読みいただき、事故のないように正しく取付けてください。
(用語及び記号の説明)

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます」
「注意しなさい！」
(上記の「警告」「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください)

「してはいけません！」(一般的な禁止記号です)

「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です)

警告

電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱い説明書に従い、安全に作業を行ってください。

注意

パネル本体の外周部は鋭利になっておりますので、取扱には充分ご注意ください。

パネル本体の表面はセラミックです。
・施工前に輸送中の割れがないことを確かめてください。
・衝撃を与えたりタイルに負担のかかる持ち方をすると割れる恐れがあります。
特に施工前の取扱いにはご注意ください。

正しい持ち方

※持ち上げる場合、片側を支点にゆっくりと持ち上げてください。

誤った持ち方

※水平にしたまま持ち上げると割れる可能性があります。

施工前のご確認

必ずお読みください。

施工前に確認いただくこと

- パネル本体の表面に割れ(クラック)が無いか、施工前に必ずご確認ください。
- この商品は住宅トイレ床専用です。屋内壁、屋外、浴室等へは使用できません。
- 指定以外の下地への使用は避けてください。
- 接着剤、両面テープは弊社指定のものをご使用ください(一部市販推奨品を除く)。
- 室温が5℃以下では、接着剤が硬化しない、もしくは硬化が遅くなる場合がありますので施工しないでください。
- 周囲の壁を傷つけないよう保護マット等で養生してください。
- 便器排水芯を基準に取付けるため、排水芯が部屋の中央からずれている場合、パネル本体も取付け位置が中央からずれた仕上がりになります。

施工時に確認いただくこと

- 施工後は接着剤が硬化するまで十分に換気してください。
- 施工後の仕上がりを良くするため、製品は若干凸反りにしてあります。
- 接着剤が製品表面や周囲に付着した場合は、きれいな布等で直ちに拭き取ってください。接着剤が手に付着した場合は直ちに拭き取ってください。

※硬化してしまった接着剤は接着剤がし剤で除去できます。(接着剤がし剤を使用する場合は目立たない所で変色等しないことを確認してください。)

下地のご確認

下記注意事項をよく読み、既存の床の状態をよく確認してから施工してください。

≪施工可能な下地≫

・木質フローリング、クッションフロア仕上げで下記に該当しない下地

≪施工できない下地≫

下に該当する場合は施工できません

下に該当しないか、チェックをお願いします。

下地に腐食、床鳴りのある場合

(下地の張替えをお願いします。)

※床面全体を足で踏んで下地の劣化している部位がないか確認してください。

下地に1mm以上の段差、5mm/m以上の不陸がある場合

下地に浮きがある場合

(タッカー等で補修をお願いします。)

下地のゴミ、ほこり、汚れが著しい場合

※接着不良の原因となります。中性洗剤等で汚れを除去し、乾いた状態してから施工を始めてください。

表面にワックス等を塗布している場合

(除去してください)

ドア下の隙間(アンダーセット)が10mm以下の場合

※ドアが内開きの場合、ドアが開かない可能性があります。

止水栓(平付の場合)、水抜栓、手洗キャビネットが干渉する場合

※排水芯までの距離が260mm以上離れていることを確認してください。(※右図参照)

必ず下地の状態をよくご確認の上、健全な下地の上にご使用ください。

※本製品は既存の床に上張りする製品です。既存下地の状態が悪いと破損する場合があります。

施工前に濡れ布巾等で清掃を行い、下地の汚れを除去してください。

埃等が付着していると、接着不良の原因となります。

取付け前にご確認ください

■ご用意いただく工具

スケール、金尺

その他 掃除道具(ほうき、ちりとり、布巾) 安全保護具(手袋)

はさみ、カッターナイフ

マスキングテープ

コーキングガン

■必要部材

本商品に同梱されているもの

見切材

(0.5m×1本、1m×2本)

両面テープ

(3本)

パネル本体

見切材スペーサー

(6枚)

段差調整スペーサー

(2個、両面テープ付き)

その他 施工説明書(本紙)、取扱説明書

別途ご用意いただくもの

専用接着剤

イナメントRC-S

(品番:RC-S1-DY)

または市販の木質床用

ウレタン系接着剤

(コニシ株式会社 KU928C-X)

■製品の確認

便器はセラミックトイレフロアリフォーム用の専用品番をご使用ください。
部品が異なりますので、通常の便器品番は使用できません。

リトイレ便器	セラミックトイレフロア リフォーム用
サティスリトイレ (品番:GBC-S11H-DY)	サティスリトイレ用 (品番:TFKC-S1047H-DY)
アステオリトイレ (品番:GBC-A10H-DY)	アステオリトイレ用 (品番:TFKC-A1047H-DY)
アメーチュズリトイレ(品番:GBC-Z10HU-DY)	アメーチュズリトイレ用(品番:TFKC-Z1047H-DY)

取付け方法

※必ず梱包材を敷いて、その上で作業してください。パネル本体にキズが付く恐れがあります。

1. 便器の取外し

便器を取り外します。

2. 見切材スペーサーの張付け

パネルを裏返して下図の位置に6箇所張付けてください。

⑤ タイルの中央 450～480mm

②

①

③

④

裏面

銅板面

注

スペーサーが剥がれないようしっかりと圧着してください。

スペーサーには裏表があります。

表: 透明の保護フィルムがあります
※テープで連結されています。

裏: 剥離紙(白色)
こちら側をパネル本体裏面に張る

■見切材スペーサーの張り方

①保護フィルムを剥がします

②剥離紙から剥がし、パネル裏面に張付けます。

パネル裏面の銅板に合わせ張る

3. 両面テープ張付け

付属の両面テープをパネル裏面に張付けます。

■両面テープの張付け位置

※テープ①から順に張ってください。

テープ②

10～15mm程度

15～20mm程度

15～20mm程度

テープ④

裏面

銅板面

テープ①

15～20mm程度

15～20mm程度

テープ③

80～90mm程度

※両面テープは切断してから張付けます。

410mm

280mm

テープ①

テープ②

テープ③

テープ④

予備

■施工のポイント

両面テープを端に張り過ぎると見切材が差し込めなくなる場合があります。

面テープ

パネル

見切材スペーサー

見切材

15～20mm程度

作業時に絶対にタイル上に載らないでください。
※裏面側から力を加えると割れる恐れがあります。

4. 見切材の取付け

4-1 まずは手前側の見切材(短)を取付けます。

①中央に配置できるよう左右対称に取付けてください。

②コーナー部がきれいに納まるように右図を参考に差し込んでください。

見切材スペーサーがめくれやすいように注意してください。

注

見切材が中央からずれた場合は、一度外してから再度取付けてください。

①左右対称に差し込んでください。

②コーナーが揃うまで差し込みます。

■施工のポイント①

コーナーから順に差し込むと容易に取付けられます。

■施工のポイント②

上端を引っかけて、滑り込むように差し込みます。

4-2 次に、側面の見切材(長)を取付けます。

初めにコーナー部見切材同士が揃うように調整してください。(隙間の無いように揃えてください。)

■側面から見た図

両面テープ

パネル本体

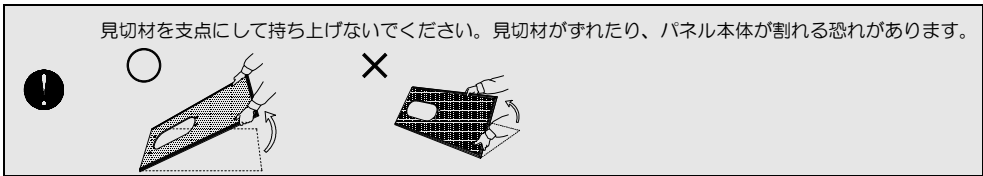
見切材

コーナー部がきれいに納まるよう調整します。
※奥まで差込みません。

注

見切材の合わせ部がずれた場合は、側面の見切材を外して再度調整してください。

5. パネル取付け位置の確認



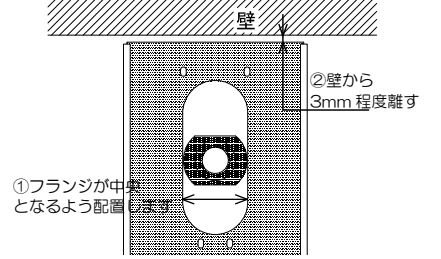
5-1 パネルを仮置きします。

■前後の位置調整

・幅木厚さ 5mm未満（幅木のない）場合

①パネルは、排水穴が便器の排水フランジの中央となるよう配置します。

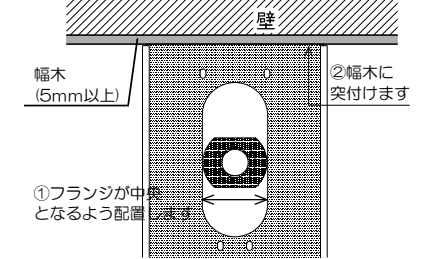
②奥の幅木（壁）から 3mm 程度隙間を空けて配置します。



・幅木厚さ 5mm以上の場合

①パネルは、排水穴が便器の排水フランジの中央となるよう配置します。

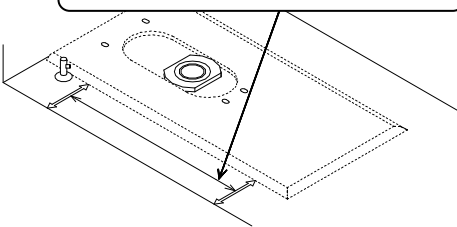
②奥の幅木との隙間を空けず、突付けで配置します。



■側面方向の位置調整

側面の壁と平行になるよう調整します。（2箇所測定して、等間隔となることを確認してください）

側面の壁と平行になるように調整。
（2箇所測定して距離が等しくなることを確認する）

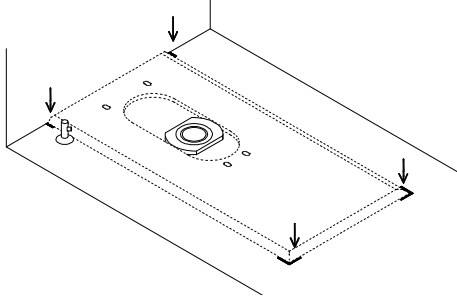


■施工のポイント

- ・基準とする側面の壁は、使用時に目に付き易い側をご選定いただくときれいに納まります（出入口の向かいの壁など）。
- ・フローリングの板目など平行に模様がある場合は、タイルの向きを模様に合わせてもきれいに納まります。（お施主様とご相談ください。）

目立たないようにマーキングしてください。
※下地の色柄により目立つ場合は、鉛筆を使用して後で消すか、マスキングテープを使用してください。

5-2 四隅に取付ける位置をマーキングします。

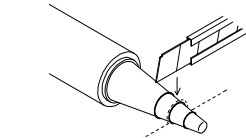


6. 接着剤塗布

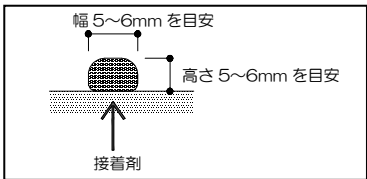
以下の手順に従い、接着剤をパネル本体裏面に所定の位置にムラなく塗布します。

■接着剤ノズルの切断位置・・・

2つ目の切り位置の根元側で切ってください
（RC-S の場合）



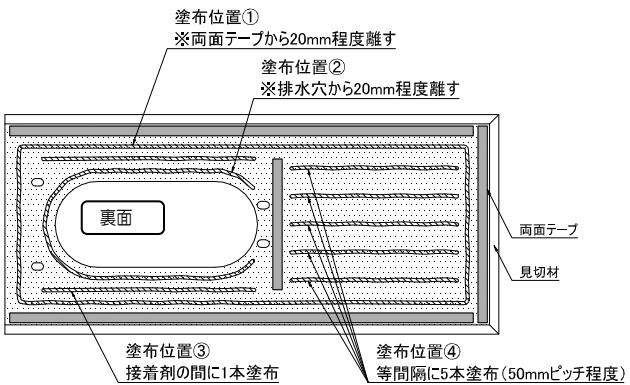
※接着剤径φ5mmにしてください。
※接着剤使用量の目安…パネル1枚で約0.5本使用します。



必ず指定以上の径で塗布してください。
接着剤の塗布量が少ないと、強度が不足し破損の原因になります。

下図のように、パネル本体裏面に

①両面テープの内側に1周、②排水穴の周囲、③～④平面全体、の順に接着剤を塗布します。



必ず指定した接着剤（弊社イナメント RC-S、又は市販のコニシ㈱社製 KU928C-X）を使用すること
※酢ビ系接着剤は接着不良の恐れがあるため使用できません。

注 パネルを張付ける前に、見切材が取付いていることを確認してください。

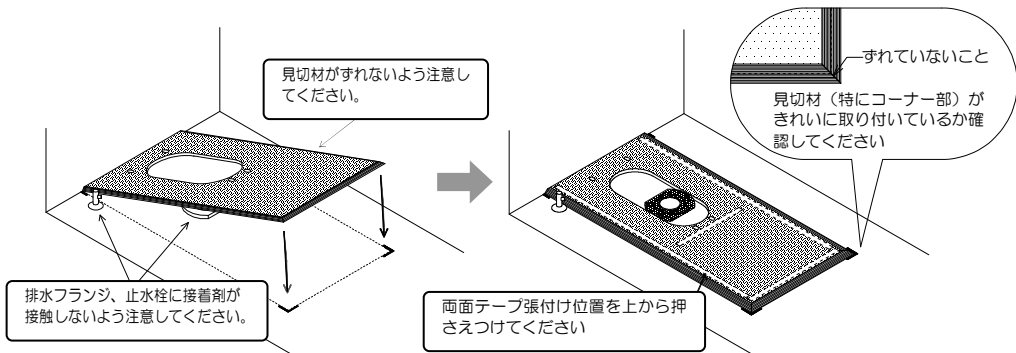
注 パネルを張付ける前に、見切材がすれていないことを確認してください。

7. パネル本体の固定

①パネル本体裏面の、両面テープの離型紙をはがします。

②マーキング位置に合わせ、パネル本体を便器奥側→手前側の順に軽く置き、パネルが正しい位置に配置されたことを確認します。（排水フランジに接着剤が付着しないよう注意してください）

③パネルを圧着させます。両面テープの張り位置を、上からゆっくりと均一に押さえてください。

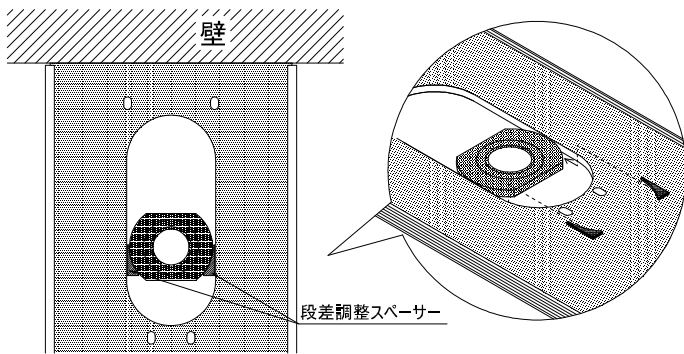


注 浮き防止のため、下地にしっかりと圧着してください

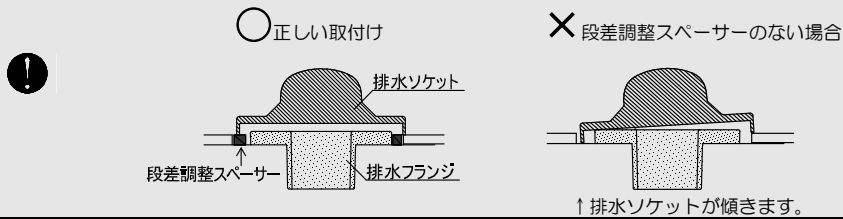
8. 段差調整スパーサーの取付け

パネルの厚みによる段差で便器の排水ソケットが傾かないように取付高さを調整するスパーサーです。排水ソケットを取付ける前に、下図の位置（2箇所）に段差調整スパーサーを張付けます。

■張付け位置



スパーサーは正しく取付けてください。排水ソケットが傾いて取付いた場合、ガスケットが十分に圧着されず漏水する恐れがあります。



9. 便器取付け

便器に同梱されている施工説明書をご覧ください。

注意

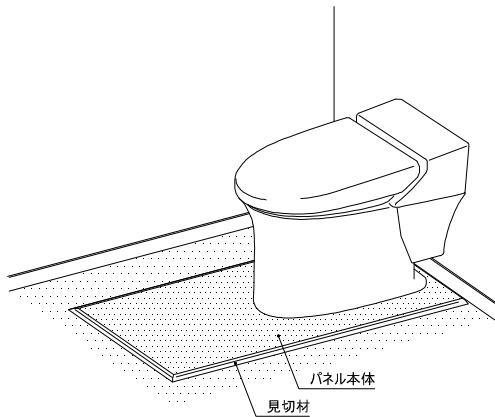
便器取付け前に表面をダンボール等で養生してください。
※便器取付け時にモノを落としたり、便器を引くとパネル、見切材が傷つく恐れがあります。

便器は定位置に静かに置いてください。
接着剤はまだ硬化していません。パネル本体の上に乗ることは可能ですが、大きな衝撃・荷重を加えないでください。

便器取付けビスの増し締めは必ず手締めで行ってください。
強く締め付けすぎるとタイルが割れる恐れがあります。

以上で、セラミックトイレフロアリフォーム用の取付けは完了です。

■完成図



■商品・施工方法についてのお問合せはL I X I Lお客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL:0570-01-7173 FAX:0570-01-7178

受付時間 平日 9:00～18:00 土、日、祝日 9:00～17:00（夏期・年末年始の休みは除く）

※ナビダイヤルは、PHS、IP 電話等ではご利用になれない場合がございます。

右記番号をご利用ください。TEL:0562-31-0793 FAX:0562-31-0797